

九州大学経営協議会議事録

日時：令和3年10月21日（木）13：00～13：58

場所：web会議により開催

出席者：28名中23名出席

【構成員等の紹介】

経営協議会委員について紹介があった。

【審議事項等】

- 1 役職員の給与の支給基準の改定（期末手当等の支給割合の引下げ）について
役職員の給与の支給基準の改定（期末手当等の支給割合の引下げ）について説明があり、審議の結果、これを議決し、実施の時期については役員会に一任することとした。
- 2 第3期中期目標期間（4年目終了時評価）に係る業務の実績に関する評価結果について
第3期中期目標期間（4年目終了時評価）に係る業務の実績に関する評価結果について報告があった。
- 3 国立大学法人ガバナンス・コードに係る適合状況等について
国立大学法人ガバナンス・コードに係る適合状況等について説明があり、審議の結果、これを議決した。
- 4 九州大学ビジョン2030について
九州大学ビジョン2030について説明があった後、以下のような意見交換があった。
 - ・ビジョンの実現を加速させるべく、ぜひ意欲的なKPIや具体的な目標、評価指標を設定し、それを実現させるための体制、インセンティブが働く仕組みづくりをお願いしたい。また、ビジョンの実現には多くのステークホルダーとの関わりが必要であり、学内はもちろん、地域の企業や住民等、多くのステークホルダーを巻き込んで取り組んでいただきたい。福岡市としても、引き続き貴学と連携を図りながら、社会課題の解決やイノベーションの創出をともに実現していきたいと考えている。
→引き続き連携をお願いしたい。
 - ・今年のノーベル物理学賞を受賞した真鍋氏が記者会見で日本の大学や研究所における研究環境について問題提起していた。このような問題に対する対応はビジョン2030に盛り込まれているのか。
→自由闊達な研究が大学の基盤であり、そこから発展して様々な取組みが生まれるような土壌はしっかりと確立していかなければならないと考えており、ビジョン2030にも掲げている。
 - ・若手研究者の研究時間を確保し研究環境を充実させたいということは、総長就任前からおっしゃっていたので、研究に関しては思い切った取組みをしていくのだという線を出していく必要がある。
→研究者の支援に関しては、FQR（Free Quarter for Research）という形で、年間4分の1程度は研究に時間を費やすことができる期間を設けるという制度を根付かせたいと考えている。

- ・感染症関係について、今はコロナで非常に関心が高い分野であるが、九州大学は他の大学に比べてこの辺りにかなり力を入れているのか。
→今後も新しい感染症は起きると考えており、福岡県版の CDC（疾病対策センター）を立ち上げようと行政や企業と検討している。福岡では、人間だけではなく動物、生態系も含めた感染に対する対策を行っていきこうと「ワンヘルス」という取組を進めているところ。
- ・何を指すのかということをしかりと示すことが必要。どういう目的のために、何をどうするという建付けが無ければ中々説得力がないので、ぜひ KPI を含め、明確な目的、目標を立てて頂きたい。
- ・多くのステークホルダーがいる中で、ハンディキャップを持った方や外国人等、もっと広いステークホルダーを視野に入れるというアプローチがこれからは必要。
- ・「3. 教育」の施策として「課題解決・価値創造の視点」とあるが、市民が気づかない問題点をあぶり出し、もっと深く社会で対応できないか。課題の見える化をしかりするとすることを表現していただきたい。
- ・「5. 社会共創」の項目については、まさに市民が入ってくるので「シチズンサイエンス」の部分が必要。JST（科学技術振興機構）でも、いわゆる科学者が市民の幸せを実現するという方向で進めていこうとしているので、産学官に「民」を入れていただきたい。
- ・ビジョンを実現させることによって、福岡や九州にどう役立つのか、どう発展するのかという地方の視点を忘れずに入れて頂きたい。
- ・長期ビジョンや取組みを考える時には、若手を含めてどのような集団でビジョンをディスカッションして作り上げていくべきか苦慮するところであるが、九州大学の場合はこういった形でこのビジョンを最終的な形にまとめようとしているのか。
→このビジョンに関しては、指定国立大学法人構想が基盤にあり、この構想を作りあげる上では、執行部だけではなく、若手、女性等ダイバーシティを考慮しつつ、様々な年代の方に参画いただいた。若手も含めた全体構想会議を何度も開催し、九州大学は将来どうありたいかという議論を行っており、それがビジョンにも反映されている。

【その他】

- ・新型コロナウイルス感染症の対応状況について
新型コロナウイルス感染症の本学の対応状況について報告があった。
- ・役員等について（大橋地区調整担当副学長の交代）
大橋地区調整担当副学長の交代について報告があった。
- ・次回の経営協議会は令和4年1月21日（金）に開催予定である旨の案内があった。

（ 以 上 ）